GPS Lap Timer 6000S

クイックガイダンス

01 包装内容

包装の中身を確認し、パーツが揃っていることをご確認ください。

6000S 本体

ブラケット

USB 充電ケーブル

車載用充電器

ソフトCD-ROM

入門クイックガイダンス

保証カード＋専用ステッカー

(オプション)

ハードジェールケース　吸盤式車載用ホルダー バイク用ホルダー　外付アンテナ

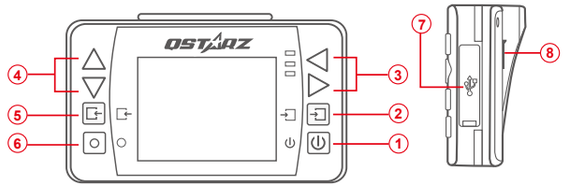
02 6000Sの充電

初めてご利用の際は、フル充電してからご利用ください。
USBケーブルでパソコン接続、或は車載充電器に繋ぎ、充電を行ってください。

▬ オレンジLEDランプが点灯：:充電中。
▭ オレンジ: LEDランプが消し：フル充電。

※ 閉じた状態の充電する場合は、約5時間かかります。
フル充電した時、連続使用時間は約10時間でございます。

03 機能ボタンの操作



① **電源ボタン:** 電源ボタンを3秒間押すと、パワーON/OFFになります。
② **選択/決定ボタン:** 項目選択および決定します。.
③④ **閲覧ボタン:** 選択項目に上/下/左/右を移動します。
⑤ **戻り/キャン:** セルボタンキャンセル及び前画面に戻ります。
⑥ **多機能/開始ボタン:** レースの記録及びログを実行スタートします。
⑦ **Mini USBポート：**充電、データダウンロード、ファームウエア更新の際。
リセットボタン リセットします。(ゴム製カバーの内側)
⑧ **GPS外外付アンテナMCXポート** (ゴム製カバーの内側)

04 6000S ブラケット取り付け方法

ブラゲットを6000S裏面のネジ穴位置に合わせ、ドライバーを使い、固定するまでネジを締めて付けてください。

ステップ 1: 吸盤式車載用ホルダーをブラケットのT字型凹溝に合わせてください。
ステップ 2: 凹溝にあわせたら、6000Sを固定させて下さい。.
ステップ 3: 運と視界を妨げになる位置除き、吸盤をフロントガラスに合わせ、強く押したまま、ラッチを吸盤の方向に押せると着できます。

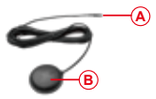
ステップ 1

ステップ 2

ステップ 3

05 GPS外付アンテナの取付

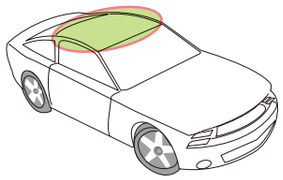
6000S本体の中、既にアンテナが内臓されておりますが、一部地域での車内環境や遮蔽物の下になる場合、GPSシグナルが捕獲しにくくなり、外付ア



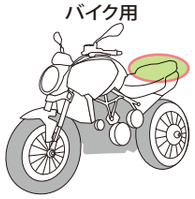
Ⓐ MCXケーブルを6000S本体裏面のアンテナ接続口に繋ぎます。
Ⓑ マグネット式GPS外付アンテナを車体の天井上や金属質平面の上に吸着させます。

下図イラスト　照、お勧めのアンテナ取り付け位置:

自動車用

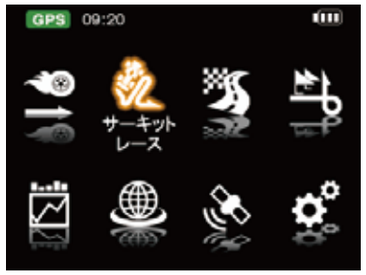


バイク用



サーキットで6000Sのご利用場合

1 閲覧ボタンでサーキットモードを選択し ⏎、ボタンを押し、サーキットモードに入ります。

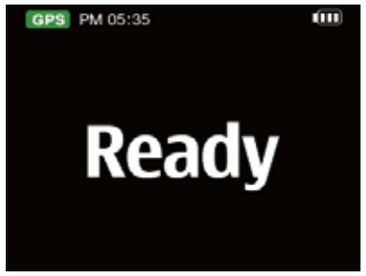


2 クイックモードのアイコンで、ご利用したいモードを選択し(練習, 予測, 競技, 挑戦, カスタマイズ) そして**次に**ボタンを押します。

3 6000Sデバイスは最寄サーキットを自動認識し、情報を表示され次第、ご利用したいサーキットを選択し、**次に**ボタンを押します。

4 そしてサーキットビーコン幅や他も情報確認。

5 **開始**ボタンを押して、3秒のカウントダウン後, Ready表示画面になったら、走行開始可能になります。



定期的に本製品の更新を行ってください、最大効果が得られます。尚本製品は室外環境の使用限定されています。

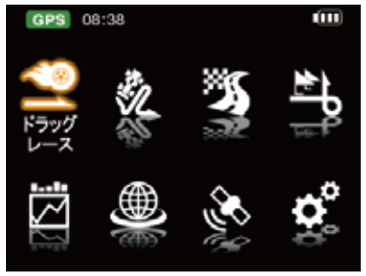
GPS衛星信号について
GPS（全地球測位システム）は不透明な固体物質に貫通できないため、上からの遮蔽物（ビル、トンネル、高速道路下、森の中、金属成分のカーフィルムなど）並び天候の影響により、GPSから提供された計測とトラックは参考にできない場合があります。ユーザーが実際の使用状況と地理環境からデータの正確さと適合性を判断する必要があります。

もし6000Sデバイス内の既存データの中、サーキットのスター、ゴール、スプリットデータが紛失された場合、弊社オフィシャルサイトで最新のサーキットデータをダウンロード可能になります。

http://racing.qstarz.com/Japan/JP-Share.html

ドラッグレース、又性能テストで6000Sのご利用場合

1 1.閲覧ボタンでドラッグレースモードを選択し ⏎、ボタンを押し、ドラッグレースモードに入ります。



2 クイックモードのアイコンで、ご利用したいモードを選択し(速度, 距離, 時間, カスタマイズ) そして**次に**ボタンを押します。

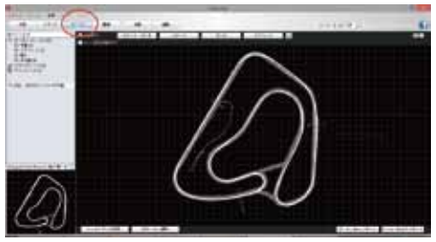
3 比較の所に比較基準タイプを選択(ベストか前ラップ)そして**情報欄の選択**の確認し、 開始ボタンを押します。.走行**開始**可能になります

QRacing専門ソフトで 貴方のレーシングを分析しましょう

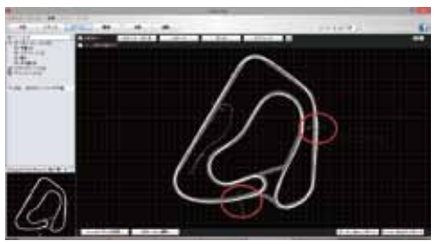
あらかじめ:
レースの成績を影響される原因について、車輌の設定以外，下記4つのポイントも成績の影響原因になります。QRacing は４つのポイントを分析できる専門のソフトでございます。
1.走行ライン（トラック）　2.減速　3.加速　4.速度

1 分析したい走行データを選択します。

2 ピーコンページを選択し、ページに入ります。



3 コース図にピーコン2本を配置し、全コースを平均的に3等分を分けてください。
既存トラックの場合、公式ピーコンは既に設置しております。
デバイス本体を接続している状態なら、本体からダウンロードしてもOKです。



4 分析ページに移ります。まず下に基本の走行情報がございます。
ラップタイム、最大速度、最低速度、平均速度と走行距離を表示されてます。
ブルー色の表示は各ベスト情報になります。

5 そしてページに下に移動すると全体のラップタイムと各区間（スプリット）の時間データが表示されております。そこで3周目の走行は一番速いラップタイムになりますが、第7周目の区間1-2で見れば、3周目の区間1-2より速く、00.123秒差が出てます。
そのため、そこの差異性を分析しましょう。

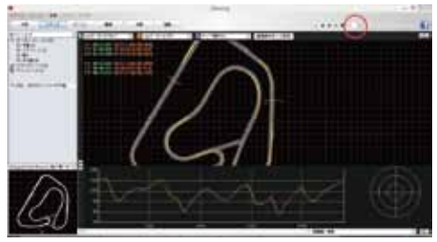
6 情報欄一番下に黄色の2列を見てください。
仮想ベストタイム：ソフト経由で計算された理論的に改善できる進歩時間（達成難しい）
ベストラップタイム：ソフト経由で計算された物理的に進歩できるのラップタイム（達成可能）

7 トラックページに移り，ソフトは自動的にベストラップ軌跡（グリーン色）を表示されます。

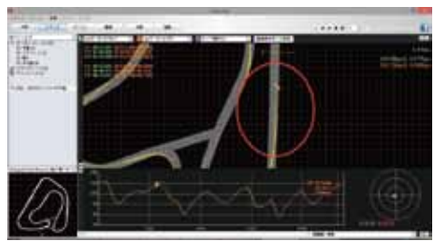
8 オレンジ欄に第7周目のデータを呼び出して、ベストラップと比べます。

9 画面右上の▶ボタンをクリックして、二つラップの実際走行状況を動画で再生します。ここで、各コーナーの走行ラインと加速、減速状況を検証しましょう。必要な場合、画面右上の+-ボタンで拡大と縮小ができます、そして、マウスを移動し軌跡点を追跡、走行情報を確認します、ベストラップは3周目なので、最終的はグリーンの軌跡点を先達します。

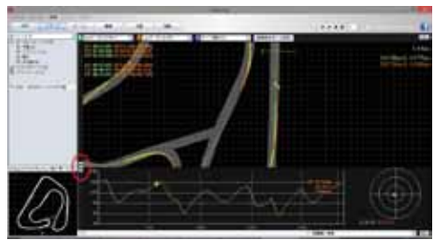
10 また画面右上のS/Fを1に選択、変更して、もう1度再生しましょう（分析したい区間を設定しれば、区間分けの分析ができます。）ここで、3周目と７周目の走行再生は、区間1のスタートから、同期させて走行します。



11 尚、７周目の区間1~区間2は3周目より、00.123秒を早ってますので、７周目の走行ラインでは加減速点も早いし、コーナーインの時点も早くなっております。
参考資料として、このコーナーはアウトーラインの選択で、距離を伸ばしたが、
もっと早くの加速点が得るのはより効率的の走り方です。



12 曲線グラフを拡大して検証すれば、オレンジ線はグリーン線の上になった黄色斜線面積は７周目が先頭になって、3周目より早めている面積です。



13 結論まとめ：区間1~2で７周目の走り方と加減速点を参考して、他の区間は3周目走り方のままで。
タイム成績がもっと進歩できるはずです。

QRacing PC専用分析ソフト

6000S包装内容の中、QRacing™ソフトが付属されています。初めてのご利用はプロダクトキーを入力する必要がございます。
ＣＤディスクでインストールの前に、封筒上に記載されたプロダクトキーをご確認ください。

製品安全注意事項

- 熱源に近いや高温環境での使用はご遠慮6000Sデバイスを60℃以上の環境で使用すると、過 熱と溶ける恐れがございます。
- 高温により、製品の故障や損害の恐れがございます。
- 車内にいなく、製品を使用してない場合、製品を取り外して収納してください。
- 火災や電気ショック防止のため、本製品を雨や湿気の高い環境での使用は禁止
- 安全のため、本製品をドライバー運転動作の妨害する位置の取り付けをお避けてください。(例：シフトレバー、ブレーキペダル周辺)
- 製品の清潔は軟質で乾いた布で製品の表面を拭いてください。刺激の化学洗剤での清潔はやめて下さい。
- 人による不当操作、及び機体の解体などで損傷，保証は失効になります。

QSTARZホームページまで、
Q6000Sの製品情報は満載です。